

# 此ノトノ週報

No. 324 BASTOS, 24 de JUNHO de 1956 O PROGRESSISTA REG. No. 4576 S. Paulo A. P.

第二四四号  
昭和卅一年  
六月廿四日  
発行  
DIRETOR  
KOITI MORI  
REDATOR  
SHION ODA  
RUA PRES.  
VARGAS 188  
C. P. 112  
BASTOS  
C. P.  
誌代  
一ヶ月  
80円

「必ず儲かる」

## 養鶏研究会

上手 下手

育雛は百パーセント（一羽も死なない）  
産卵は年平均八〇パーセント  
成鶏自然淘汰二〇パーセント  
飼料は最低価格で

こういう指導看板を掲げたら吾も吾もどその研究会へ入ってこころにちがいない

甲乙丙三人が鶏二十羽宛飼っていた  
家数族、労働力、資産、設備は同格  
であるが一年目の成績はちがっていた  
甲は純益百セント、乙は五〇セント、丙  
は残念な赤字となった。しらべて見る

と、甲の鶏は産卵六〇%、乙の四〇%  
丙は三〇%、これが決定的な原因だった  
が、鶏の健康の点では甲の成鶏自然減少  
二割に対し、乙は三割、丙は五割だった

丙百羽の鶏は一年後五〇羽となり三〇%  
産むから、一日十五羽  
甲百羽の鶏は一年後八〇羽となり六〇%  
産むから、一日四十八羽

これでは丙が甲の養鶏にかなわないのは  
当然だ

同じように資本をかけ一様に働いてい  
てこんな差がつく、数字の上では前述の  
ように判断とわかるが、どうしてこんな  
差がつくのか、何事にも上手と下手があ  
る。上手、下手の差は、理論の上で正しい  
ことを実際にやうか、行わないかの差に  
よって生じてくる

いかに熱心に或は骨身惜まお働いても  
その働きが科学の基礎の上に立っていない  
いと、まいかへれば合理的でない、折角  
の心労も実を結ばない

又技術的に見て飼育管理が理想的でも  
経営上の技術に欠ける所があれば、これ  
も及第とはいえない、何故なら五百や六  
百の鶏では、いかに儲けてもたかが知れて  
いるからである

採算が充分でしかも少からぬ利益を  
得るには、飼育技術と、経営技術が両輪  
の進むこと、円滑なバランスを示さな  
ればならない

研究会の誕生と組合の後援

バスター養鶏に於て約二百家族の半  
分以上成績をあげ得ず、行き詰りをか  
かるとするれば由々しき問題である、各  
組合に於てもそれをこれ対策を講じて居  
るであらうが、之れに単に組合だけの  
ことではなく、バスター産業の基礎が  
根本問題であるから、共同戦線を張  
り対策にのり出して貰いたいと思ふ

かつてニューカウスル病が地方に  
発生し、いつ聖州奥地へ浸入せぬとも限  
ぬ様な恐怖の時期があった、その時ニ  
カウスル病の防衛には高全を期すべく各  
会とも手を合わせ、態勢をととのえた

幸い、ニューカウスル病は蔓延しなかつたが  
組合のどつた態度は実に左ア

Alpaistaria Imperial



丸山洋服店



日記メモ

彼女に贈りたいもの

（ソパン中村時計店にて）

婦人用腕時計

タイア入指輪

真正パール首飾

ルビーのイヤリング

いやくアリアンサを

彼女の笑顔、目に浮かぶ

（をわり）

ソパン市バス停留所前

# 中村時計店

Relojoaria Confianca

T. NAKAMURA  
TUPA

った。今問題に成っている生産減による  
 養鶏行詰りの対策にしても、オールパス  
 トの的見地から各組合が、こゝろを指導  
 へのり出すか又は口火を切つてくれるべ  
 きである。もとより組合は経済団体で各  
 農家の生産物、必需品の販賣の代行機  
 関にはあるが、生産の基礎に動搖を来さ  
 ず程の現状に對しては黙過できぬであら  
 う。各組合とも方針なり理想があるには  
 違くないが、それに抵触しない範圍で後  
 援的態度に出てもらつても、どの位効果  
 があるかはわかり知れない。たとへば各組  
 合から数名宛の優秀な養鶏家を推薦し、  
 之を時々一堂に會して協議させる、即ち  
 指導機關とし各組合が後援する、成績の  
 よくない同業者を鼓舞激励指導する任務  
 に當らせたりとうであらうか。組合のそ  
 うした後援は必ず精神的支柱となり、バ  
 ストス更新への働きかけがかりとなる  
 にちがいない。

求人

家事手伝いの娘さん (十五、六才以上)  
 サンパウロの市甲 二人

住込、通学の便を喫えます  
 又責任を以てあつかひます故  
 心配ありませぬ  
 希望の方は、フラ植製糸会社事務所  
 齊藤義雄又は斎藤定へおいで下さい  
 詳しいことは面談

御 礼  
 金志 コント也 右は故母堂様蘇儀に  
 際し、当会へ御寄附下さいました  
 連合日本 人会々計 善一  
 三 野

御 礼  
 金五百針也 右は故母堂様の蘇儀  
 に際し、当会へ御寄附下さいました  
 連合日本 人会々計  
 三 野 善一

御 礼  
 金五百針也 右は故母堂様の蘇儀  
 に際し、当会へ御寄附下さいました  
 連合日本 人会々計  
 三 野 善一  
 南南まよ様

Sapataria Hayakawa  
 靴屋 早川  
 政治力が必要だ

政治力が必要だ

去る五月廿七日の農談会の席上畑中市  
 長と私が所見を述べられた。その概畧。  
 「皆さんのお説を伺いました。ありや  
 る角度からのご意見で大変参考になりま  
 した。只今奥田さんから、カキオエラお  
 いらぬこと、FARESPの語にたいしてご  
 質問がありましたが、これは市と関係  
 のある話です。私には市に關係しては  
 五ヶ月にしかありませんので、その範圍で  
 しがお話しができません。御承知のよう  
 に三ヶ月前には組合に居り、その間全力を  
 つくして内部の建て直しをやり、現在の  
 も尚組合に關係しつづつ、市長といふま  
 して市全体のことを見、考えねばならぬ立  
 場におかれ、店をもち、もう一方の経  
 営も手配をありませぬので、只誠心  
 誠意だけで仕事をし、居ります。市役所  
 の内部をのぞいて見ても、人事につ  
 いては、ゆるゆるのまゝ、全線にたい  
 して、ゆるゆるのまゝ、非常な状態に  
 ついて居ります。之れも出まらぬ限り正  
 常に復したいと考へます。しかし乍ら物  
 事というものは正義があればよいが、正  
 しくさえあれば茶えるかと云ひますと  
 それだけ政治力というのを忘れたら  
 ならぬと思つて居ります。  
 日本民族は由來勤勉であつて、骨身惜ま  
 おつた。その上、何といひますか、道義  
 と、いふ点でも大愛するやうな居ります。  
 その反面、物事を強調するとか、共同の  
 利益を争うとか云う点、即ち政治力に欠  
 け、いふと思ひます。バスター更新に關  
 し皆さんの色々なお話しを通じて、政治力

を強く要望されていゝることが判ります。日本民族は又外交にも不得手な民族といわれ居ります。農村振興の爲めに金融面を用いてもらいたい。カーザラボラが指導面を支持してもらいたい。これらの要望は皆外交政治の一部といえましよう。即ちバスターズの更生は政治力を考慮せねば成り立たぬものであろうと思ひます。

アラジルの農村に於ても政治力のいかに大切であるかを吾々は、此迄の経路ではっきり知り知らされた。過去のバスターズは不幸にして、そういう方面に各市長とも没頭したとも思へない。財政の点からいへばなかつた。そういうことがバスターズの生産力に影響を与えたと思ふ。いかにしてバスターズを更生せしめるか、私の立場からいふならば、政治的にも活動せねばならぬ。この官憲に協力を求めることはなからず、即ち政治力を發揮することあります。

カーサネラボラを設置して貰うことは、農業者の爲めには自近の急務です。金融の面は他の方法によるとして、此際一定のキリをつけたい。必要がありまふ。自治の問題にしても、バスターズの更生をムニシピオとして取扱うべきが部落に於いては、一つ一つで済まぬ。当ムニシピオの政法について、大方の関心を希望する次第です。(文責 在記者)

### 御 礼

一 金式百針也

右は由堂中葉儀に際し當会へ御寄贈下さいました。ありがとうございました。御礼申上ります。

バスターズ 婦人会々計

前山 義雄 様

### 一週放言

### 流 言

G区附近のヌラード事件は、根も葉もない蜚語であつたやうな。警察でも内偵したやうだし、心ある日伯人は自費で車をとばしたりして調査したとも、聞いた。流言で結構だつた。事実だつたら実に不愉快な事件だかつた。しかしそれにしては、かかろ根も葉もない事を、よく見えて来たやうに云ひつゝ、奴もゆるしがた。パールでよつたら、はらつて常に人さわがせをするトモガラのやつたことだらうが、しかも、こういうオツさんが日本人の中に居るかと思ふとなさげない。とんでもなく流言といふのは形がないし、とんでもなく変形(9)するのだから、始末がわるい。(Q生)

### バスターズ歌會報

バスターズ歌會第六十七回月例会を去る六月十日小指居に於て催す。得点者扶美チキチキ、一男、前子以下畧

寒波警報はつれて続くこの雨土霜よりよしと牛飼が云ふ

終日かの雨あとに見る夕映は長つづががが空権い初む

絆物を受けて学資を出す君と消費に生きる才なき吾と

薬列の車上に傘のふれ合ひて

終日山まさる雨の中ゆく

降りやまぬ嘆きの声の菊の巻

なほ陣りのつく冬この雨音

各州を色分けに塗り子の画く

アラジルのマツバ心臓に似て

一月を休みて幼の守なせり

かかる生態露思けふる

連日の雨は貧しき我にたつらく

子等の垢衣のとりかえつさる

死は寸前にあると必々思ひ見ぬ

不慮死に遇ひし人を送りて

去替せし仔豚は柵によりをいて

所足あかこよるめき歩む

朝毎に赤りて見るなり枯れたりと

思ひしバラの芽吹きて伸びる

アルト区

西柿園の

かきしぶ

高血圧・中風 によく効く

〔苗木砒にするカキの夕木分譲〕

渡部チ工  
扶美  
三枝はら  
吹本前子  
重道千代子  
山本一男  
浅田狐母  
土井はやし  
山本和枝  
田中霜月  
森重羊鈴

**ALBATROZ**  
Sabão Lava Melhon



手があせない  
よくよこれがとれる

サボン  
**アルトロース**

におきの下さい。  
安くてよい サボン

バスターズの  
各商店でお求め下さい

第二十八回入植祭に関する御しらせ

バストス連合日本人會

左の如く開催する事に決定いたしました。

- 期日 来る七月七日(土) 八日(日) 両日とす

- 行事
1. 農産手芸展 両日 係 聯合青年團
  2. 生花展 係 宮武勝甫
  3. 寫真展 係 橋本、早川又は宮崎
  4. 中学生ワルシヤ(七日) 係 榎、上田、侍教会
  5. 慰霊祭 八日正午より 本年は古永氏の廿七回忌に當り特別法要を行なう

○余興(両日) 八日午後二時より 藤原直輔、崎田 七十才以上の方招待 贈物あり

1. のど自慢 係 西川
2. 童謡劇 中央女青年團 係 藤原八重子夫人
3. 農村劇 中央青年團 係 石橋、島木
4. 芝居 バストス劇団 係 演芸部長
5. 舞踊 舞踊家連中 係 戸田
6. 其他 婦人会 係 池田夫人

○野球予定 少年野球、珍野球 支部対抗決勝戦

○柔剣道大会予定 係 浦紀南子

○俳句大会 係 中島善治

○囲碁大会 係 石橋

○将棋大会 係 石橋

經濟檢出方法 三〇針券リリーフを發行す 各関係者は振って御協力下さい。

連絡先は各係へ御願ひします。

おなじみの

八山又水師

来植

来る六月廿五日、廿六日、廿七日 三日間

(内)日は スロリアII會館

日本より新しく届いた 「コント」のスライド」持参

宗教による青少年教育 わかりやすく、おもしろく、指導の方針です

会場 バストス産業會館 夜七時

葛 (つた)

葛がわら仁匠の名ある小病院 初校

葛の門目おくに菜しが二軒あり 菊子

葛がからたか貸すといふ古館 系者

炭 火

炭火さかん夏と事忘れ居たりけり 大納言

すき焼に香が 郷愁の炭火燃え 修水

融れ合ふて女手を引く 炭火燃ゆ 落印

生徒 募 集

初心者といぬいに指導す 月謝不要

日本語問題一へんに解消 禁酒禁煙

バストス俳句専同学校

校長 佐々木南天子

- Em todo o caso, não ficarás aqui, disse Barberin, pegando-me bruscamente por uma orelha; ou este senhor ou hospício, escolhe!

Vem, Remigio, pega o teu embrulho e segue adiante de "Capi", para a frente, marche! Estendí as mãos para ele, depois para Barberin, mas ambos desviaram a cabeça, e senti que Vitalis me agarrava pelo pulso.

- Então, Remigio, anda, meu filho, disse Vitalis. E puxou-me pelo braço. Comecei então andar ao lado dele. Felismente não apressou o passo e até mesmo me parece que o regulou pelo meu. Felismente, a subida comprida; no entanto, a força de andar chegamos ao alto. Vitalis não me tinha largado o pulso. - Deixa-me descansar um bocadinho? disse-lhe eu.

- De boa vontade repaz, vá lá. Pela primeira vez largou a mão. Mas, ao mesmo tempo, vi-o dirigir os olhos para "Capi", e fazer um sinal que este percebeu. Imediatamente, como um cão de pastor, "Capi" abandonou o seu lugar á frente da companhia e veio collocar-se atraz de mim. Esta manobra acabou de fazer comprehender o que o sinal me tinha já mostrado: "Capi" era o meu guarda; se eu fizesse qualquer movimento para fugir ele saltava-me as pernas. Fui-me sentar no parapetto da relva e "Capi" seguiu-me de perto. Sentado no parapetto revestido de relva procurei a vista obscurcida pelas lagrimas a casa da mãe Barberin.

Mais um passo na entrada e tudo aquilo desaparecia para sempre. antes de nos deixar entrar

- Visto á teres descansado, a caminho meu rapaz. Quiz-me soltar; ele porém, segurava-me com força. Capi, disse ele Zerbino! Os dois cães cercaram-me: Capi atraz, Zerbino adiante. Depois de ter andado alguns passos, voltei a cabeça. Tinhamos passado a crista da montanha e já não via nem o nosso vale nem a nossa casa; somente lá muito ao longe, colina azuladas pareciam subir até ao ceu: a minha vista perdeu-se em espaços sem limites.

Depois de ter andado pouco mais de um quarto de hora, largou-me o braço. - Agora, disse ele, vai andando devagarinho ao pé de mim; mas não te esqueças, que se quiseses fugir, Capi e Zerbino em breve te alcançariam; têm ambos os dentes bastante agudos. Fugir, sentia que era agora impossível e que por conseguinte era inutil tentá-lo. Era a primeira vez que fazia semelhante sem parar e sem descansar. O meu amo avizava em passo regular, levando "Jili-Coeur" em cima dos ombros ou em cima do sacco, e os cães trotavam ao pé dele sem se afastarem.

De tempos a tempos Vitalis dizia-lhes uma palavra amiga, ora em frances, ora numa lingua que eu não conhecia. Nem ele, nem eles pareciam pensar em fadiga. Mas não se dava o mesmo comigo. Estava esfalfado. O cansaço fisico juntando-se á inquietação moral, dera cabo das minhas forças. Arrastava as pernas, e custava-me extraordinariamente a seguir o meu amo. Contudo, não me atrevia a pedir para parar.

São os tamancos que te fatigam, disse-me ele; em Ussel, hei de comprar-te uns sapatos. Esta palavra reanimou-me. - Ainda é longe, Ussel?

- Aí está um grito sincero, disse Vitalis rindo; tens então muita vontade de ter uns sapatos, rapaz? Pois bem prometo-lhe uns com pregos por baixo. E prometo-te tambem umas calças de veludo, um casaco e um chapéu. Espero que isto te enxugue as lagrimas e te dê pernas para andar ainda as seis leguas que nos faltam.

Sapatos com pregos por baixo! Isto maravilhou-me. Os sapatos já eram para mim uma coisa prodigiosa, mas quando ouvi falar em pregos esquect-me do meu desgosto. Sapatos com pregos! umas calças de veludo! um casaco! um chapéu! Ah! se mãe Barberin me visse, como ficaria contente, como ficaria orgulhosa de mim. Apesar dos sapatos e das calças de veludo que estavam no fim de seis leguas que ainda nos faltavam para andar, perceu-me que não podia chegar lá tão longe.

- Constipas-te facilmente? perguntou o meu amo. - Não sei; não me lembro de estar nenhuma vez constipado.

- Muito bem, sim senhor; decididamente ha em ti boas qualidades. Mas não quero exportar-te inutilmente, não iremos hoje mais longe. All está em baixo uma aldeia, iremos lá ficar. Nessa aldeia não havia eslatagem, e ninguém quis receber uma especie de mendigo que levava atrz de si uma criança e três cães tão enlameados uns como outros.

- Não se alverga aqui ninguém, diziam-nos. E fechava-nos a porta nacara. Iamos de uma casa a outra, sem que nen uma se abrisse.

(Continua).-

我々になじみの多い

# ブラジルの薬草 9

十四 日本名 アジサイ Saxifragaceae

学名 *Hydrangea macrophylla*

*Ge. Rusp. Typica Makino f. Otake, Wils.*

テマリバナといつゝ居る地方が多い。昔から社稷薬(クシキ)のつとまじ。強心剤として葉や花の乾したものの一〇分内外を煎じ一日三回に分けてのんでいた。昔キニイネやワラスモヒンのない時代はコレソの特效薬として用いられてもいた。爪の熱さまじ等に用いるは常態化していゝ。含まれてゐる成分はヒドランゲノール、イソヒドランゲノール等です。

アジサイを七変化というのは初の花の咲きかける前は青黄色から白色となり次に淡紅色とされいになりさかりを過かると淡紅色。終に赤褐色となるというように七変化をかねるこゝろ意味である。

此の花はあなたには古淡であるという意味に用いられる。女の人のさう地方があるのは此れはアジサイが七変化である為の貞操をかえぬのを婦人の美德とした時人の思想を伝え反映してゐる譯です。週報に私の次女が作文中アジサイの花が好きだ書いたのがのつていたので吃驚してかまきき作り話してきかせました。

日本でもきれいな種類があるが、九州にも栽培愛種多く各国に普及してゐる。新芽を挿すと四寸釘にふさわしい四寸位の美事な鉢物がある。

文献 朝比奈泰彦 薬草学雑誌二〇二八—三六—三九 四九—五〇 五〇—五七—三  
朝日奈先生は日本の二回文化勲章を受けた方、現在七十四、週刊朝日新号の表紙に日本百年輪を飾るを飾る

十五 ケンボシ *Rhamnaceae*  
鼠李科 学名 *Hovenia dulcis, L.*

ケンボシの星島さんの処には見事な成木がある。是事と実のなつてゐる状態を、よもや、なつたものと思ふ程である。具合所もあり、バスターでは植えて居られる方も多い。角藤種苗園にも苗を仕立てて居られるが、このものは根を張り上げて挿根してよく、種子をまいてもよく成長する。

食用及薬用とするのは、珊瑚のような屈曲する花梗で、肥大の肉質となり、初めはシブく、食べられぬが、熟すると大変あまく、小供の大変よろこぶものとなる。一寸長十郎の過熱した糖な味をもち居り、支那や日本では、のみずぎや、二日酔するなと思つ時、これを含べておれば大変

## 佛教 講演會 おしらせ

来る 六月二十五日 午後七時半  
会場 バストス産業會館

講師 パラオ州 ノーバエスバランサ本願寺  
ハシヤマ ホンサイ  
八十山 風水師

余興 有益なケントウ  
沃山 上映いたします  
多数御來聴かんかい(入場無料)

### バストス 佛教會

#### 中学校四年生

リトフア 当選 おしらせ  
六月十五日開票の結果をおしらせします  
一等(三九番) G 茂庭徳亮氏  
二等(一〇九番) C 遠藤常治氏  
三等(二七八番) 森重又市氏  
右之通り

具合がよい。酒毒の特効薬として、アジサイの人が酒をのみながらこれを食べている果物は、酒も見受けられる。流し時は柿のシブに嗜り、バナナの花梗を切った汁位である。中流れさくとは、そんな処から出たのか。

若葉は生で、中がいてむとべられる。老葉はハツタイシバ同様煎粉として食用、又他の粉にも使食用する。救荒植物の一つである。日本では、この木を一尺位に切り、ホホ地中にいけ、ヒラタケの菌を植え、見だか、秋末から冬にかけて採作したものに、その年の秋には、色や味、薄肉の厚い、より草が沃山生え、年に三回収穫が出来た。水分を補給してやると、百葉草(色の深い)ちがた草と思えるものか)二回出ました。

針葉樹は、オガクズにすもり、リスニンをもち、かつ、針葉樹は、ヒラタケに似る限り、ホホ草属や、葉がよいと思はれて、います。私はケンボシが最もよいと思ひます。シイタク、マツシニルム(西洋松)等も、ここには地下室を作らねば駄目です。又技術上普通の方では、むつかしいでしょう。一寸脱線しました。リンガのむ親爺の為に家の近く一本位植えては、いかか？ 笑がなれば、愚なりぬ、賢妻賢息が一番たがることか、しようが、オヤ、何同様愚か、世訪女房ふれ

# HITININ no SAMURAI

来る七月六日 (午後二時、八時) 七日 (午後二時、八時) 八日 (午後八時)

堂々北米大陸を捲席した大日本映画、聖市でも本年度二回の長打を放った一流映画

(映画批評會を致します。充分御鑑賞下さい)

シネ・パン・テ・イ・ラン・テ・ス



ひち



にん



さむらい

加東大 三船敏郎 志村喬 山村聰 三國連太郎  
オールドスターキャスト

御まちがぬのクランナリ映画 七人の侍が、参りました。奥地ではバストスが封切でございませう。日本の生んだ 大監督 黒沢明の大野心作 戦国時代の野武士と百姓の生態を画いて迫力息氣人に迫るものがあります。日本映画の最高峯といわれる大作品です。中見逃しのないように。

## Nossa Relojoaria

AV. TAMOIOS, 785 Japã

時計 眼鏡 貴金屬 修理 確實



特に日本人各位には 御高評をいたして 居ります

## ノツサ・トケイ店

ワッパンで一ぱん大きく 一ぱん信用のあるサホンダ

来る七月八日(日) ソ線本年の代表ア・マツシャード少年軍とバストス少年軍の練習試合(手の内をこころみんとす) 2? 2?

マツシャード少年軍未征

ることは悪い氣持ではありませぬ。タホはバスターテあり植えるべし。植えるべし。下手な薬のこを書くより、百薬の長の方が好い方も多いと思われ。玉の歪なさが如しと言われんより百薬の長はどのほどこそ故しけれの方がよい儲ますね (筆者 菱刈先生)

## 坂東商店

ポント前



全部 定価より大割引をしてお居ります 安いが高いが、せし一度御来店下さい

食器、台所用具、飾物、いろいろ

色々珍らしい、美しい ガラス器、陶磁器、アルミ器

シネマ券一枚進呈

お買物五十針毎に

開業十周年 カリザクリスミル

第廿四回バストス 自誌野球記者 O.M生  
支部対抗野球戦

一週間にわたる長雨もやつと納まった十六日、待望の支部対抗野球戦が始まった。本年は日本でちつとはヤキウをカじった青少年が、どのチームにもまじっていたが、エノキチームなどはその方ではア、ア、まじり気がない日本色を呈していた。毎年支部対抗となると、何となく口臭い試合が多かったが、今年は見事にええる程ハツラツとして居り、争い眼を評しても氷球が上つて来た相だ。不振だったバストス野球もこの迎から、各門を知らず知らずととりかえすようになるかも知れない(入場式八時半、計誌試合開始)

十六日の三試合

ホシマキ	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カトリア	2	0	1	0	0	3	0	0	1	0	0	3	0	A	2				
アルト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウニオン	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エスベナ	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エノキ	7	5	6	0	0	0	A	0											

アルト対ウニオンは、一戦は最初から優勝戦のような迫力のある試合で、技倆的仲見合えがあった。エノキ軍中々派手にやる

十七日の四試合

カスカッタ	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カトリア	2	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	A	0				
サウネ	2	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アルト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エノキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カトリア	0	4	0	7	2														
アルト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

御 札

別掲数々のタツナ並に賞品御寄贈下さい  
いたしました方々厚く御礼申上ります  
主催 支部対抗野球大会 總務部

十八日 準決勝と優勝戦

カトリア	4	0	0	2	1	0	4	0	1											
アルト	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
ウニオン	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
エスベナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
エノキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
カトリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
アルト	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
ウニオン	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
エスベナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
エノキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
カトリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0											

三位戦ではAもGもクロッキ型になり精神だけで戦って、痛々しい感じがある。アルトは準決勝がすむと休む間も多くの本場の為のケムセツトとなる。優勝戦ではサウネがモムと、こむかええたが、往年の大投手北谷も疲労の為のクロリアの猛打を浴び、守備陣を攪拌された。強豪アルトを屠つた時の快調は実力が感じられた。Gも優勝するに実力を打撃に身備に充分見せて居り、これに水爆打を打つて、まじく豪壮で快野球味を存分に味はせてくれた。

- 優勝並** イモリリア、ハシワカカリ、ミヤギ、ミヤギ、長尾隆、丈、氏、奇、贈
- 優勝旗** 故上野手吉、氏、奇、贈 (取手らま(り))
- 二位並** ホスト、バンランテ、奇、贈
- 三位並** 橋本、蚕、種、場、奇、贈
- 四位並** 横田、浅、香、氏、奇、贈
- 打撃賞** 櫻、常、孝、孟、奇、贈
- 早川商店賞** S、柏、原、金、一、五、割
- バブルホクホ賞** G1、河、村、光、五、割
- 上野条治氏賞** G1、浅、野、光、四、割、七、割
- 特別打撃賞** B、河、部、房、八、割
- 個人敢斗賞** S、北、谷、投手、黒、川、操、孟
- チーム敢斗賞** E、ノ、キ、チ、ム 古、田、商、店、孟
- 新人賞** A、岡、田、一、壘、手
- 満塁ホームラン賞** G1、宮、次、捕、手

御 札

審判部の連日の御活躍に対し満腔の御礼を申上ります  
支部対抗野球大会 總務部